

省力型比抵抗法 3次元電気探査システム

概要

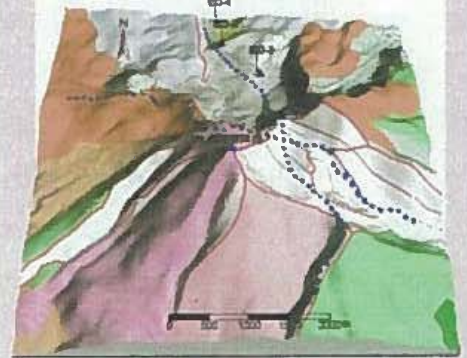
- ・従来の3次元探査に比べ、現地作業、測定時間が大幅に短縮され、必要な計算機のスペック、計算時間も小さい
- ・3次元探査用の特別な装置を要しない(従来の技術で探査可能)
- ・3次元解析には既存のアルゴリズムを利用可能
- ・各測線を同時に設置する必要が無く、既存探査データに2次元探査を追加することで3次元解析が可能
- ・測線の配置法は任意だが、交差させることで交差点周辺の解析精度を向上させることができる
- ・非直線的な測線のデータに対応できる

適用分野

- [考古学分野]**
 - ・高精度な遺跡の調査
- [農業土木分野]**
 - ・ため池堤体の老朽化診断(漏水、パイピングによる空洞など)
- [土木分野]**
 - ・土構造物の調査
- [環境分野]**
 - ・ごみの不法投棄の調査
 - ・地下水汚染調査
- [防災分野]**
 - ・断層調査、火山調査
 - ・地すべり地の地下構造調査
 - ・地すべり対策工の一つである
 - ・集水井の効果判定のための調査
- [資源探査分野]**
 - ・水、鉱物、エネルギー資源探査

適用事例

電探測線配置(2次元)および地表地質概略図



LD	溶岩ドーム	AV1	古層火山体1
MF	逆走地帯物	FL	断層
AV2	新層火山体2	CD	カルデラ
AV1	新層火山体1	BO	ボーリング
AV2	古層火山体2	ST	電柱

3次元解析結果

